



国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	榊原 行夫	幹事	小林 透	雑誌会報委員長	瀬谷 研一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2010年7月第4週号

第2276回



平成22年7月23日(金) 点鐘12:30 (晴れ)

- ◆ロータリーソング 『それこそロータリー』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- ・本日のゲストスピーカー / 千葉市長 熊谷 俊人様
- ・東京RC / 小林 公雄様
- ・千葉西RC / 内貴 洲平様
- ・千葉緑RC / 松崎 久夫様

■ 入会式

《山口 浩会員》 東京電力(株)千葉支社 支社長
(紹介者:今関 真人会員、水野 謙一会員)



出身は、長野県の松本です。平成5年から千葉県民になり、今は、大網白里町に住んでおります。私は、送電関係の仕事をしておりまして、正に自然にさらされておられ、台風や雪に弱いところがあります。そんな関係で多少気象に興味を持ちまして、中々難しく10年掛かってしまいましたが、気象予報士の資格を持っております。

これから皆様にお世話になりますが、宜しくお願い致します。

《鈴木 政彦会員》 (株)千葉銀行 執行役員本店営業部長
(紹介者:吉田 裕成会員)



先ほど、趣味は散歩と紹介して頂きましたが、実は私が飼っている犬がミニチュアダックスフンドでしてその犬と歩いていて、殆どゆっくりと歩いております。今後とも宜しくお願い致します。

■ 委員会報告

社会奉仕委員会より (金親 博榮委員長)

8月1日に行われる「国際里山の集い」は、まだまだ余裕がありますので、ご参加下さい。前日に看板等の設置の準備がありますがお手伝い頂ける方は、3時頃現場にお出で頂きたいと思っております。

先だって、多古町の知的障害者更生施設「ひかり学園」へ会長、幹事、塩谷会員と私で行ってまいりました。今、80名程おりますが、ここでも高齢化があり、60代以上の方が増えてきて問題になっているとのことです。古い電気製品や食器類が必要とのことで、不要な物があれば戴けると幸いとのことでした。継続的な支援について皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

■ ニコニコボックス報告

☆千葉緑RC・松崎 久夫様

昨年度は、千葉南RCの皆様には大変お世話になりました。今年度も榊原会長、小林幹事には、公私共にご指導願います。

☆榊原行夫会長・小林 透幹事より

熊谷市長さん、今日はご多忙のところ、卓話を有難うございます。

☆鈴木 美津江会員より

市長、ご苦労様です。本日は有難うございます。市長は名誉会員です。毎年、1回で良いですので、例会にご出席をお願いします。

■ 出席報告 (会員数39名)

本日のニコニコボックス	9,000 円	累計	33,000 円
金の箱	1,025 円	累計	4,435 円

出席者数 32	欠席者数 7	ビジター 4	修正出席率 83.33 %
---------	--------	--------	---------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#)にご利用下さい

千葉RC	月	8/16/30	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	8/10・17・31	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	8/10・17・24	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	8/4・11	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	8/4・11・18	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	8/12	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	8/19	京成ホテルミラマーレ

演 題…『これからの千葉市づくりへの想い』
卓話者… 千葉市長 熊谷 俊人様



皆さんこんにちは。お招きを戴きまして誠に有難うございます。又、お話をさせていただく機会を頂戴致しまして、会長以下皆様方に大変感謝致しております。

市長に就任させていただいたのが、今年の6月14日ですので、1年と1ヶ月位経ったところです。新聞等でもお話しさせていただいたのですが、この間、多くの方々にご協力を戴いて一年目としては、私は予想以上に良いスタートを切ることが出来たのではないかなと感謝しております。特に一番大きかったのは、就任して直ぐ、今年度の予算が作れるのかどうかという、この一点だけが心配で心配で仕方ありませんでした。昔は、市長が就任するとギャグで使われていたのが、金庫を空けたら空っぽだったということが良くあるのですが、私の場合は金庫を空けたら借金証書が山積みだったという感じで、特にリーマンショックが重なりまして、非常にタイミングが悪くて、本年度予算は財政の間は、夏ごろから骨格作りが始まるのですが、もうお手上げ状態でした。今年の10月に脱財政危機宣言を出して、それで何とかしようという事で、事業の見直しをしようという事になって、事業仕分けも国の代名詞になってしまいましたが、千葉市はそれよりも早かったのです。今日のニュースで福島前我孫子市長が消費者大臣になったようですが、この福島さんが千葉市の事業仕分けを仕切ったのです。市長を辞めた後も、いろんな自治体の事業仕分けをしていました。折角だから、千葉市の方でも福島さんに入っていただきながら、独自の事業仕分けをやるという事で、仕分け人だけでは切られてしまうので、傍聴者の意見も入れるようにして、千葉市独自のスタイルで事業仕分けをして、今でも他の自治体から視察に来られて、その部分が特徴的だねとされています。本年度は何とか予算は乗り切ったのですが、本年度、来年度分の予算編成をする時に、財政の方を呼んでどうですかと聞いたら、相変わらず厳しいわけですが、昨年度はあれだけ事業の見直しをしましたから、今年度は作り易いですよ、と言うことになっています。

昨年度は、緊急避難的な予算でしたが、将来の見直しをしなければならないものは、本来予算編成の時にするのではなく、もっと前にやっておかなければならないものだと思います。3年、5年先を見据えて、今のうちに結論を下しておくのがよい。例えば、私は敬老会の事業を減らしたのですが、敬老会の事業と言うのは必要だと思いますが、平均年齢が上がっているのですから、65歳以上ということになると大変な人数になるので、これが更に5年後になると絶対に続けられなくなるのです。そうするとあとの人たちが何も貰え

ないと言う不公平になるわけですから、年齢を5歳引き上げて金額を若干引き下げて決めたわけであります。でも、それはもっともっと対話をした後で決める方が望ましいと思い、今回の予算編成、これから先の予算編成では、5年10年後に千葉市が見直しをしなければならない事を、一定の方向性が三通りくらい有ると思われることを決めて行こうという事で、この夏サマーレビューと名付けて決めようとしています。その点、今回の予算編成はちょっと違うのかな、と思っているのです。事業仕分けをしようとする、財源を捻出しようとするあまり、大きな予算が俎上に上がるのですが、予算が必要でない事業でも、職員の稼働が掛かっている事業が有るので、実は事業費よりも人件費が掛かっていることがあるので、今年度は内部事務の見直しも行なっているところです。これも大変難しい事がありまして、市民の皆様から今まで貰っていた資料が出ないというようなご意見を戴くかも知れないので、これを無くすると人件費がこれだけ浮くが、市民の皆様には、これだけ影響が出るというような事で、最終的には第三者に判定をして貰うしかないのかなと思って取り組みをしているところです。それと今年度、基本計画を作っているのは、来年度から10年間の素案が漸く出来たところです。これは皆様方もご覧戴いて意見を戴きたいと思っております。今の段階では、意見がある程度反映できるのです。今回の特徴は今までの基本計画と全く違うのです。今までの計画は繁栄拡大の時代でしたが、これからは少子、超高齢化社会の中で、拡大の終わった後の非常に舵取りの難しい10年間だと思うので、その時に何を優先するのかという事だと思うのです。今までは“お任せします”でしたが、これからは優先順位を取捨選択をしなければならない時代ですから、行政にとっては大変難しい時代になっていると思っております。それが基本計画の中にある程度、盛り込まれていて、特に重視しているのが三つあります。一つ目は、市民の参加をどれだけ促せるかということです。ロータリーの皆さんは普段からさまざまな奉仕活動であったり、主体的に国体を盛り上げていただいたり、正に皆様方のような方々を増やせるかという事が、これからの千葉市にとって何よりも大事だと思っております。1年間市長をやりましたが職員は人件費が高いのです。どう考えてもコストが高いのです。職員には嫌がりましたが、給与をカットしました。しかし、半分に出来るわけがないので、プロなんだから高い、だからプロとしての仕事をして、質の高いものを提供する事で納得してもらうようにする。それが出来なければ、その仕事は他の人で担えるように指導をしてやらなければならない。そして担い手のサポートをして行かなければならない。それを5年、10年と掛けてどうやって行くのか、と言うような時代に入ったと思うのです。私が、よく職員に言っていることは、植え込みが汚れているから環境事務所の人を呼んでやらせる。確かにそれは市の仕事ですが、本当に良いのでしょうか。環境事務所の人公務員でプロですよ。しかも立派な車でやってきます。そして、人数掛けてやる。どう考えたってコストは高い。本当にお金使って良いのでしょうか。職員は有限の資源ですから、当然、他の方には稼働が回らなくなるわけです。当然車も他に回れなくなる。ですから市民の皆さんも職員をどう使えば良いか。車も何処に使えば良いか。税金をどう使うかを常に考えていただかなければ、お互いにと

って不幸な事だと思います。今まで、そうは言ってもそう言うコストを全く出していないでましたから、それを出して誰がやれば良いかを普段から意識出来るようにするのが、我々がやらなければならないことだと思っております。

もう一つは、職員は融通が利かないですね。公務員であり、役所である以上、いい加減な仕事は出来ないという事から公務員である為に画一的になるし、デフェンシブになる。この1年間公務員である為に悪平等になるところに限界を感じているのです。例えば、国体は六つの競技があります。私が陸上3連覇中で次の4連覇が掛かっているから、陸上の4連覇に集中してみても、と言うと、他の競技の団体からクレームが来ます、だから六つ同時にやらなければ駄目なのです、と言う事になると力は薄まってしまいます。広告 PR の鉄則は、削ぐ落とす事なのですから重点的に伝えたい事に絞る事であり、いっぱい要素を入れると薄まってしまい、どれも伝わらない事になるのです。行政は行政の責務上非効率的なことをしなければ成らない体質なのです。そこを役割分担して巧くやる事が求められて来るのだと思います。特徴的なのが、この前マリスタジアム基金を作りましたが、人工芝を張り替える資金がなくて、それでは「災い転じて福と為す」で、全国のロッテマリーンズファンからお金を貰おうじゃないかと、これは非常に画期的でして、例えば九州福岡の人が1万円、5万円寄付すれば「ふるさと納税制度」が活用できて実は彼らも税金が浮くのです。そういうマリスタジアムという公共的な皆が応援したくなるようなことに「ふるさと納税制度」が使えるという画期的なシステムなのです。これで千葉市外から1円でも多くの金を集めたいと思ったのですが、事務方から上がってきた書類を見たら、「ホームタウン推進基金」と言う形で上がって来て、何だと聞いたらマリーンズにもジェフにも使える基金と言う、マリーンズファンはジェフに使われるのでは、金は出さないだろうということで私は駄目だと、これはもうマリスタジアム基金で特化しなければ意味は無いという事で押し戻したら、ジェフからクレームが来たら如何するのだと、私はそれならジェフでも作れば良いのだと。優秀な職員なのに何がしたいのか判らないような結論になってしまうというような体質があるのです。これは意識改革の必要があるのですが、行政の限界でもあると思います。役割分担をどうして行くかということになりますが、ここが千葉市の腕の見せどころという事になるものと思います。

次に、基本計画の大きな二つ目が未来志向を強く持つという事です。これから人口が減ろうかという時代になってきました。子供の数も減ってきます。子供、若いエネルギーのある世代がいなくなると、老人世代を支える人がいなくなりますから、介護施設をいっぱい作っても特養を作っても、働く人がいなくなると放置されてしまいます。働く人たちがいつづけるようにすることが、全ての世代にとって重要な事なのです。その為に如何すればよいかと言うと、子育て世代に来てもらう街にしなければならないので、それは子供を育てると同時に本人が働き盛りですから、千葉市に魅力を感じてもらえるような街にしなければならないだろうと、今、待機児童の解消も急ピッチで進めています。不況になりましたので働くお母さんが増えています。その為に待機児童が増えています。千葉市は力を入れていますから、こういう時

代になっても横這いなのです。これから更に減らそうという事で、相当なエネルギーを注いでいます。未来志向を強く持つ事でここでも工夫をしています。保育所をどんどん作っても、15年、20年後に又箱物みたいに無用の長物になる危険性がありますので、整備の仕方に工夫をしておきまして、新規の保育所を作るのではなく、既存の保育所の定員拡充とか分園のような形で拡大を計り、減った時にはその部分だけ撤収すれば良いと言うように。別々に作ると調理室だ、園庭だといろいろな他の設備に及ぶ事になります。それに対して国の補助制度は新規に作った方が、金が貰い易いのです。それは規模の経済によって、園児の数の多い方が補助金は少なくすむので、多く貰う為には園児の少ない施設の方が、一人当りの補助金は多く貰える事になるのです。非効率の方が余計に貰えると言う矛盾があるのですが、国の補助制度は全部そうなっているのです。例えば、千葉市では95万人の大都市ですから共有部分が多くて効率の良い行政が出来るのですが、15万人の都市が六つあったとしますと、90万人になります、小さな街ですと非効率の行政になりますから、高率の補助金を安定的に貰えるので努力しないシステムになっているのです。そんなシステムですから箱物が作り易いわけです。結果的に千葉市では国からの補助金を減らされたのを、千葉市独自の補助金制度で補填をするようにして埋めているのが今の制度です。もう一つは幼稚園の活用です。共働きが増えているので保育園が足りなくなり、幼稚園は受け入れ枠の25%の空きが出ているので、ばたばたと倒れたり経営危機に見舞われているのです。同じ子供の為の施設なのに、こんな馬鹿な話は無いと、幼稚園に保育所の機能を持たせるような補助金の投資を重ねております。

三つ目は、千葉に住んでみたい、行ってみたいという街にしたい。県と一緒に悩みですが、千葉と聞いた時に、直ぐにイメージが沸くようなシティセールスを考えなければならぬ。これは皆で知恵を出し合いながら、試行錯誤して千葉の発進力を高めて行く、今まで千葉は恵まれていて、これからは一歩二歩前に行くような戦略的発信が何よりも重要だと思います。

私が追加で基本計画に入れるようにしているのですが、国際的な視点です。千葉は成田空港に一番近い政令指定都市で幕張の副都心も持っていて、国際意識も持っています。中国がビザの取得が緩和されてから、今、銀座に行ったら皆中国人です。その中国人に千葉に来て金を落としてもらえるような街にしなければならない。そこは真剣に皆で理想を掲げて、そういう街をどうやったら作れるのかと。実際に中国人は、ディズニーランドに来て千葉のホテルにたくさん泊まっているのですが、泊まるだけで終わっているのです。そしてもう帰ってしまう。お金を落としてもらう仕組みを考えなければならない。これは5年、10年掛けて行くしか出来ない事ですから、やらなければならない。もう一つが外国人に住んでもらう街にしなければならない。今までのような所得の低いブルーカラー層の外国人というわけではないのですが、どちらかといえば、知的労働者層いわゆるホワイトカラー層を選んで住んでもらわなければならない。私が思うには、人口が減って労働力が減ってきますので、国も本気で外国人労働者を受け入れるのか、それとも縮小するのか

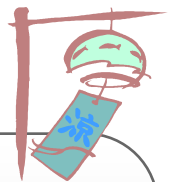
を選ばなければならない、二者択一の選択をしなければならない時期が10年以内に来ると思います。その時に千葉は高所得的な外国人にとって住み良い街にしておかなければならないと思います。今は、外国人向けの標識が有るわけでもないし、受け入れの学校が整備されているわけでもありません。中国人を受け入れる高浜・高洲辺りの学校は結果的に慣れていて、例えば千葉大学に講師で来たり、留学するようなハイソサイティーな色々な各国の人達を受け入れるような、そういった文化があれば、逆に千葉の子供達や人たちも、国際的な視野を持ちますから海外に進出しやすくなると思います。今、国際的な観点から見まして中国の天津市から職員を受け入れているのです。今まで外国から受け入れる場合は親善なのですが、今回は天津市の企業誘致担当の職員に来ていただいて、千葉市の経済部の企業を担当する部署に入って戴いています。そして千葉市の企業を訪問し、知ってもらって天津市が必要としているような企業をピックアップしてもらって、そのままダイレクトに天津市に送っていただき、橋渡しをしていただくとして、後7ヶ月くらいいますから、ご関心ある方は経済部のドアを叩いていただきたいと思います。

姉妹都市にヒューストン市がありますが、ヒューストン市はエネルギー産業都市でNASAの基地もあります。ここはメディカルセンターやベンチャーに強い街ですから、何とかそこに橋頭堡が築けないかと考えています。あそこのベンチャー育成組織と千葉大の亥鼻イノベーションプラザとのコラボレーションで何か出来ないかなとも思っています。そんな事でヒューストン市の職員に千葉市に来ていただいています。彼らもアジア部門を考えて最初の提携先を探している時でしたので、11月にヒューストン市に出かけ、正式に調印となると思っています。いずれにしても内需が減ってくると思いますので、外需で千葉市が立脚していくものと考えなくてはならないと思います。我々行政は、そういう頼りになる経済部にならなければならないと、どっちかという商店街を支えていくという今までの役割も維持しながら、これから新たに展開していくような企業に対して、コーディネート出来るような経済部門を作っていかなければならないと思います。今まで市民局とかに分散して、労働系は市民局、それ以外は経済部が持っていたのですが、4月の組織改正で経済部に権限強化、人員強化して一本化しました。これからは経済部を強化して、千葉市内の企業の強力な支援ができるような組織を目指して行きたいとしていますので、是非ロータリーの皆様もこういう事が必要なんだよ、というようなご意見を頂戴して、それを経済部に反映させて行きたいと思っておりますので、是非ともそういったことについてもご注目いただきたいと思います。

最後に国政が大変な事になるのだろうなと思っています。特に地域資金が遅れるだろうなと思っています。一年間、行政を預かってみますと、とにかく自由に来れない事が多過ぎるのです。国が箸の上げ下げを指定してくるのです。補助金の問題も現場の考え方や、現場の実状に合わない事がたくさんあって、その為に無駄に消えていくのです。国から補助金を貰うと何とか使い切ってしまうと、返さないようにしようと思ってしまうのです。その無駄に使われてしまうのが国民の税金なのです。千葉市のように、自分で何でも

出来る力を持っているところには権限を降ろして貰わないと、目の前で無駄が行なわれているのを見過ぎさなければならないのです。国が遅れる心配はありますが、千葉市は粛々とやっていかなければならないと思っています。現状は自民党とか民主党とか言っている場合ではないと思います。この国は危ない状態に突入しているので、いがみ合っている余裕は無いと思うのです。千葉市は市のことを考えて歩み寄って頂いているので、まだ何とか私もやれておりますが、これからの時代は立場を超えて、お互いに未来の為に何が出来るのかを真剣に模索していく時代だと思います。参議院選挙で本当に嫌だったのは大の大人がテレビでがんがんに罵り合いをしている、あのような姿を見つけた時に子供はこの国の未来に希望を持てるのだろうか。選挙ですからある程度相手の批判はしますが、最後は建設的な方向に持っていけないとしこりだけが残って何も進まないと思うのです。ですから、私達は千葉市の中においては一致団結出来るものを探して、力を分散しないで同じ方向に持っていけば、千葉市は必ず他の街よりも一歩、二歩先に行けると思うのです。

私は松戸市長さんにも苦言を呈しました。副市長に辞表を出させたと言っていました。そういう事をする後で禍根が残るのです。反市長派が出たりして、選挙の度に市役所の中は分裂して派閥ができるのです。そういうことをすると、後々良くないと、前の市長さんが任命した人でもその人とうまくやっていく事を模索しない限り、そんなに思うように行かないのだからと、そのようなことを申し上げたのです。千葉市は幸いな事に市役所は一致団結していますし、いろんな形で千葉市政を支えて頂いていますので、そういった形で立場を超えて、千葉市10年間一つ一つ全力で皆の力で盛り上げていく、そういう街にする為に、新基本計画を作成して、千葉市の大きな、大きな考え方の転換をしておりますので、皆様方もお気づきの点があれば、どしどしご意見をお寄せいただきたいということを、最後をお願いいたしまして、私からのお話を終わらせて頂きます。本当に有難うございました。(文責 寺澤 一良会員)



第2277回例会

《納涼懇親夜例会》

日時⇒ 平成22年7月30日(金) 点鐘18:00

会場⇒ オークラ千葉ホテル 中庭「パティオ」

アトラクション⇒ タヒチアンダンスショー

第2278回例会

日時⇒ 平成22年8月6日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『体と自然に優しいお洗濯』

卓話者⇒ 上田 欽一会員